

茨城県における災害廃棄物処理対応について

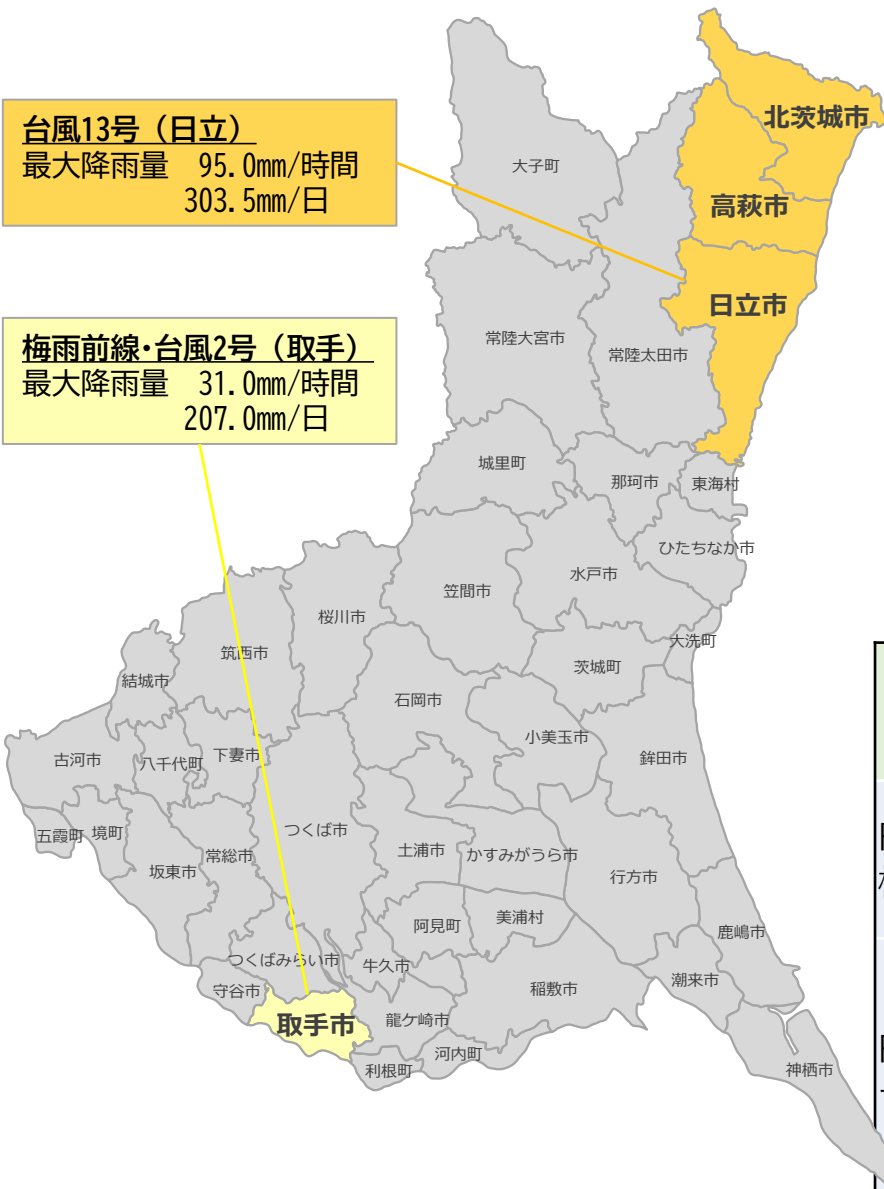
令和6年3月18日

茨城県 県民生活環境部 資源循環推進課

県内の被害状況 (R5)

台風13号 (日立)
 最大降雨量 95.0mm/時間
 303.5mm/日

梅雨前線・台風2号 (取手)
 最大降雨量 31.0mm/時間
 207.0mm/日



出典:国交省関東地方整備局防災室

R6.2現在

| 災害 | 自治体 | 全壊 | 半壊 | 一部損壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | 処理量 (t) |
|--------------------|------|----|-----|------|------|------|---------|
| R5.6 梅雨前線・台風第2号 | 取手市 | 0 | 0 | 0 | 325 | 246 | 283 |
| | 日立市 | 2 | 171 | 352 | 195 | 240 | 944 |
| R5.9 台風第13号 | 高萩市 | 1 | 159 | 172 | 180 | 350 | 984 |
| | 北茨城市 | 1 | 277 | 349 | 228 | 309 | 1,359 |

人的支援の要請

(取手市)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|-----------|------------|------|-----------|----|-----|
| | | | 5/31 | 6/1 | 2 | 3 |
| | | | | | 発災 | |
| 4 仮置場設置 | 5 支援要請 | 6 | 7 | 8 派遣開始 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 派遣終了 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 7/1 |
| 7/2 仮置場閉鎖 | | | | | | |



- 6/5 環境省職員等と現地入り (県)
- 協定に基づき人的支援要請 (被災市→県)
- 6/6 市町村へ派遣可否の照会 (県→市町村)
- 内部調整・派遣者向け案内作成 (県)
- 6/7 派遣人員・日程の調整 (県)
- 6/8 職員派遣開始 (県・市町村→被災市)
- ～ 状況に応じた派遣期間延長や動員数の調整 (県)
- 6/27職員派遣終了 (被災市→県)

派遣期間 6/8～6/27
 派遣人数 延べ86名 (36市町村+県)
 (内訳)6/8～6/20 5名/日 (市町村4名+県1名)
 6/21～6/27 3名/日 (市町村2名+県1名)

仮置場での支援業務内容



(取手市仮置場)



産業資源循環協会への要請

協定に基づき産業資源循環協会へ協力を依頼（被災市→県→産資協）

- ・ 仮置場での分別作業
- ・ 災害廃棄物の運搬・処理
- ・ 処理ルート構築
- ・ 戸別回収の実施



処理施設への搬出

（常総環境センター）



戸別回収

（日立市白銀町）

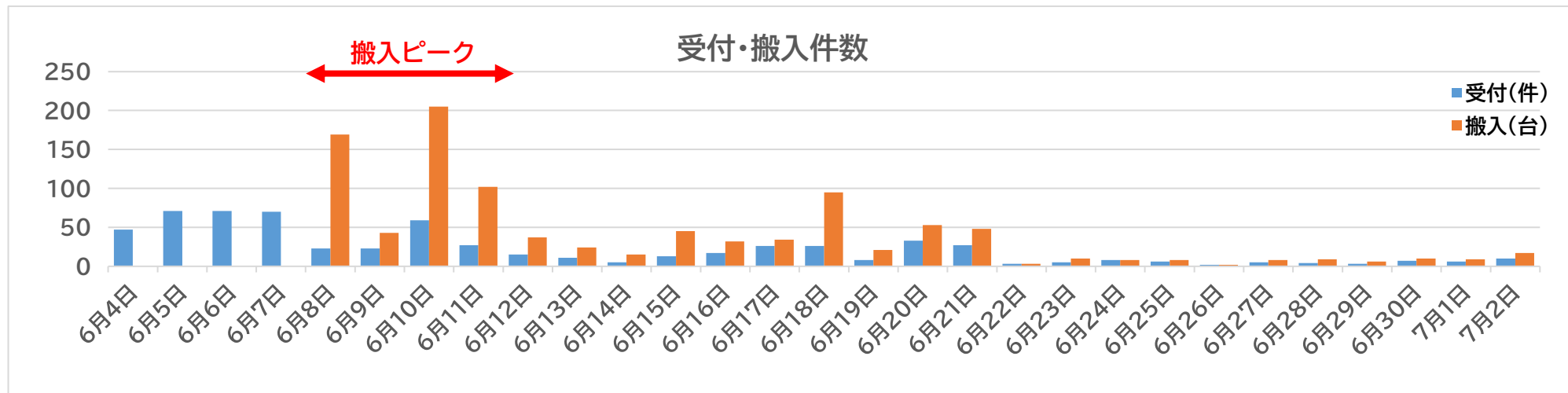
県の対応の振り返り

①人的支援で多くの市町村職員が仮置場での業務を経験

⇒現場での災害ごみ対応のイメージを持ってもらうことができた

(課題) 災害ごみの搬入が落ち着いてから、派遣職員が過剰となった

⇒随時、現場の状況を見極めながら派遣人員を整理していく必要がある



②搬入に対し搬出のスピードが追い付かず、分別されないまま置かれてしまった
⇒十分な広さの仮置場が必要。また早い段階で搬出ルートを確認する必要があった
(➡結果的に処理費用が増加)

(課題) 市町村職員の対応力向上が必要

⇒市町村職員と業者(産資協)の合同で研修会を実施し発災時の課題を共有する



混合ごみの山 (正面写真)



混合ごみの山 (俯瞰写真)